

令和4年度 入札監視委員会（第5回）議事概要

南関東防衛局

開催日及び場所	令和5年3月16日（木） 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第3会議室
委員 (◎：委員長)	天野 康代（弁護士） 梅村 靖弘（大学教授） 田才 晃（大学名誉教授） ◎細田 孝一（大学教授） (敬称略：五十音順)

防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和4年10月1日～令和4年12月31日
審議対象件数	40件

1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出案件		6件	(審議概要) ・ 契約状況、指名停止措置状況及び低入札価格調査等について報告 ・ 抽出案件の概要説明
建設工事	一般競争（政府調達協定対象）	1件	
	一般競争（政府調達協定対象外）	2件	
	企画競争方式	0件	
	随意契約方式	1件	
建設コンサルタント業務等		2件	
		意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		<p>① 厚木米軍（4）雨水排水（750）整備土木その他工事（一般競争入札方式（政府調達協定対象））</p> <p>せつかく技術提案書を提出しているながら、辞退した者が多いが理由は何か。</p>	<p>辞退した者に聞き取りを行ったところ、各者とも国や自治体等の工事を受注したため配置予定技術者が確保できなくなったとのことであった。</p> <p>監理技術者は高齢化等による人手不足のため、企業としては、複数の工事に同一の監理技術者を立てることとなり、先に決まった工事に優先的に技術者を配置することから、辞退が生じるものと承知している。</p>

	<p>協力会社の確保の有無が辞退につながったということはないか。</p> <p>推進管の価格上昇を踏まえて積算金額が合わないということを業者から聞いてはいないか。</p>	<p>推進工事という特殊な専門工事のため、専門業者の協力を得て積算を行うにあたり、複数業者の競合もあり、手配するのが大変であったとの声も聞いたが、それよりも監理技術者の確保ができなかったことが辞退の大きな理由であると聞いている。</p> <p>単価が合わないという話は聞いていない。</p> <p>官側の積算にあたっては、実勢価格を採用するように努めており、仮に単価の齟齬があったとしても、契約後にスライド条項を適用し、設計変更において見直しができる規定もあるため、それをもって入札参加を控える様なことは聞いていない。</p>
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>② 横須賀（４） 宿舍改修建築工事（その１） （一般競争入札方式(政府調達協定対象外)</p> <p>第１回入札で全者予定価格を超過している。改修工事は新設工事と違い難しい部分があると思うが、乖離が生じた部分はどこか。</p> <p>第２回入札時の辞退者は、これ以上価格を下げられないとして辞退したのか。</p> <p>第１回入札で全者予定価格を超過した場合、第２回入札の前に第１回入札の最低価格は明らかにするのか。</p> <p>第２回入札時の辞退者は、第１回入札の最低入札価格より下げられないから辞退したのか。</p>	<p>業者の内訳書を確認したところ、建具工事及び内装工事の流し台等に乖離が認められた。</p> <p>本工事の後に、（その２）、（その３）と同様の宿舍改修工事の発注があるため、価格が下げられ無くて辞退したのか、次回発注工事を期待して辞退したのかは定かではない。</p> <p>第１回目の最低入札価格を入札参加者に示し、未だ予定価格に達していない旨を通知し、第２回入札を執行している。</p> <p>第２回入札時の辞退者には、特に聞き取りは行っていないため、辞退理由は分からない。</p>
	<p>③ 池子米軍（４） 仮設食堂整備建築工事 （一般競争入札方式(政府調達協定対象外)</p> <p>本仮設食堂の競争参加資格の条件は何か。プレハブでも良いのか。</p>	<p>恒久的なものではなく、いずれは解体するものなので、プレハブメー</p>

<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>建設場所がこの場所(雨水調整池)しかなく、架台を組んで、かさ上げが必要とのことで、その分費用がかさむと思われるが、広い食堂として1棟で建てなければならないものなのか、それとも2棟とかに分散して他の場所に建てることも考慮して検討した結果、この場所が最適であると判断したのか。</p> <p>仮設建物の設置期間はどれくらいか。</p> <p>評価点の内訳(C)企業の信頼性・社会性、その他で落札業者の得点が0点となっているのは何故か。</p> <p>賃上げの表明を行わなかったためこの内訳結果になったことは、入札業者に伝わるのか。</p>	<p>カーの仕様で可である。</p> <p>競争参加資格としては、「元請けとして完成・引き渡し完了した国内における工事のうち、鉄骨造又は鉄骨鉄筋コンクリート造で、1棟あたり延べ面積が840㎡以上の新設建物又は仮設建物の建築工事を施工した実績を有すること」としており、ゼネコンもプレハブメーカーも参加できるようにしている。</p> <p>使用者側の米軍の意向もあり、現在この大きな食堂を1棟として使用しているため、仮設食堂においてもこの規模のものを1棟として整備してもらいたいとの調整の元、工事を行っているものである。</p> <p>概ね5～6年だと思う。</p> <p>賃上げ表明に対する評価において、賃上げの表明を行わないとの申請があったためである。</p> <p>評価点の内訳は、入札・契約状況調書と共に南関東防衛局ホームページで公表しており、入札説明書添付の評価基準と照らし合わせれば、分かると思う。</p>
	<p>④ 横須賀米軍(4) 汚水処理施設管理棟(920) 新設土木その他追加工事(随意契約方式)</p> <p>予算の都合でやむを得ず分割したことによる後工事を随意契約したことだが、12億円もの高額な工事を随意契約にすることに違和感を覚える。</p> <p>一括で発注できるように予算を確保するとか最初の設計段階で分割できるようにするとか何か工夫はできなかったのか。</p> <p>前工事の段階で後工事の工事規模がどの程度になるかは説明されてい</p>	<p>局では予算要求を行っておらず、分割された予算を執行することしかできないことから、①工事の全体像を提示、②前工事の落札率を後工事に継承、③随意契約に移る前に条件を示して1か月間公示し、参加希望業者がいないことを確認の三項目を条件として、やむを得ず随意契約を行っていることをご理解頂きたい。</p> <p>前工事の公告には後工事がある旨のみ示されており図面においても全</p>

○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	るのか。	体の工事量を示し、前工事と後工事の規模が分かるようになっている。	
	<p>⑤ 浦郷米軍（４）棧橋（２７８） 新設土木補備設計 （一般競争入札方式（政府調達協 定対象外））</p> <p>補備設計とは何か。</p> <p>構造物の設計は同じ構造物であっ ても設計者が変わると全く同じもの はできないと思うが、今回の場合、 当初設計した人と別の人が設計する 可能性があり、安全性はどのように 担保されるのか。</p> <p>最終的に終わった設計で、構造物 として求められる性能が満たされて いるということのチェックはあるの か。</p>	<p>一度設計が完了した業務に対し、 条件変更が生じたために、当初の設 計を補完して設計をやり直すことで ある。</p> <p>今回の構造物を設計するにあた り、米軍の運用や目的は当初の設計 段階において条件付けられており、 補備設計においてもこの条件付けは 踏襲されており、安全性についても 当初と基本的に変わっていないとい う認識である。</p> <p>当初設計では、安全性も含めた構 造計算も終わらせており、今般米軍 運用の一部変更に伴う補備設計を行 うにあたって、当初の設計における 条件を踏襲し、安全性も含めた構 造計算を行うこととしている。</p>	
	<p>⑥ 南関東防衛局（４）建築積算等技 術支援業務 （一般競争入札方式（政府調達協 定対象外））</p> <p>本業務と「南関東防衛局（４）設備 積算等技術支援業務（その１）」及び 「南関東防衛局（４）設備積算等技術 支援業務（その２）」の予定価格が同 額となっている理由を説明願いた い。</p>	<p>建築、設備ともに本省で定めた「建 設工事に係る事業監理業務積算要領 について」に基づき、同一期間、同 一人工で算定したため、同一の予定 価格となったものである。</p>	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	特に意見なし。		
2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義案件	総件数	0件	・処理状況の報告 報告なし
工 事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	

業 務	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
○委員からの意見・質問	意 見・質 問		回 答
○それに対する回答等	なし。		なし。
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし。		
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について			
審 議 概 要	順位傾向の分析、落札率・応札率等の分析、調査項目別の平均落札率等の分析等を行った資料を委員に配布・報告。		
○委員からの意見・質問	意 見・質 問		回 答
○それに対する回答等	なし。		なし。
4. 再苦情処理（再説明請求回答）			
・該当案件なし			

令和4年度 入札監視委員会（第5回）議事概要

航空自衛隊

開催日及び場所	令和5年3月16日（木） 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第3会議室
委員 (◎：委員長)	天野 康代（弁護士） 梅村 靖弘（大学教授） 田才 晃（大学名誉教授） ◎細田 孝一（大学教授） (敬称略：五十音順)

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
審議対象件数	15件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	1件	(審議概要) ① #143 空調機更新工事
建設工事	一般競争（政府調達協定対象）	0件
	一般競争（政府調達協定対象外）	1件
	企画競争方式	0件
	随意契約方式	0件
建設コンサルタント業務等	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	① #143 空調機更新工事 (一般競争入札方式(政府調達協定対象外)) 本案件が低落札である理由は何か。	本件の低落札率調査は行っていないが、当該業者は営業所が静浜基地の近隣にあるため、出張費及び調整等にかかる費用を抑えられるものと考えられる。また、更新した空調機本体の価格もメーカーとの信頼関係を当該業者が構築していることにより、安価に調達が可能であったもの

		と聞いている。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見なし	
2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義案件	総件数	0件
工 事	談合情報	0件
	点検結果疑義	0件
業 務	談合情報	0件
	点検結果疑義	0件
○委員からの意見・質問	意見・質問	回 答
○それに対する回答等	なし	なし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について		
審議概要	なし	
○委員からの意見・質問	意見・質問	回 答
○それに対する回答等	なし	なし
4. 再苦情処理（再説明請求回答）		
・該当案件なし		

II 防衛省発注機関が締結する契約（建設工事等を除く）に関する審議

審議対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
審議対象件数	2,403件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数	1件
一般競争		1件
指名競争		0件
随意契約		0件
		（審議概要） ① 基地内吸収冷凍機等保守点検

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>② 基地内吸収冷凍機等保守点検（一般競争契約（複数応札））</p> <p>低落札率が続くが積算の方法を変えないのは何故か。</p> <p>事前の見積徴収は1社であるか。</p> <p>低落札率である理由は何か。</p> <p>入札参加業者を増やしたほうが良いのでは。</p>	<p>落札2番手は8割を超えているため、落札業者以外の金額を鑑みるに妥当であると考えているが、実勢価格を適正に反映させるために、他基地との情報収集に努める。</p> <p>3社の見積を徴収している。</p> <p>本件は過去に当該業者が落札した際に当役務を実施した経験がある社員が在籍しているため、効率的な作業及び他作業員に対しての指示を行うことができることにより、作業時間の短縮が期待でき、落札金額に反映されたものである。</p> <p>今後も入札参加業者の増加を目指し、周知に努めたい。</p>
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見なし	
2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合情報件数	0件	(審議概要) ・該当案件なし
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	意見・質問 なし	回答 なし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
3. 再苦情処理（再説明請求回答）		
・該当事案無し		

令和4年度 入札監視委員会（第5回）議事概要

陸上装備研究所

開催日及び場所	令和5年3月16日（木） 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第3会議室
委員 (◎：委員長)	天野 康代（弁護士） 梅村 靖弘（大学教授） 田才 晃（大学名誉教授） ◎細田 孝一（大学教授） (敬称略：五十音順)

I 防衛省発注機関が締結する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
審議対象件数	5件

※ 抽出案件なし

II 防衛省発注機関が締結する契約（建設工事等を除く）に関する審議

審議対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
審議対象件数	46件

1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出案件	総件数	1件	(審議概要) ・契約状況について報告 ・抽出案件の概要報告
一般競争		1件	
指名競争		0件	
随意契約		0件	
	意見・質問		回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	① 器材借り上げ（その1） （一般競争契約（1者応札）） ・本件は1者応札となっており、プレハブ以外の発電機等の借上器材も含まれているが、契約金額が低廉（落札率68.40%）となったことについて、要因はどのようなものであると考えているか。		・本件は、当初もう1者が入札参加予定であったが、入札日前に借上予定の器材の一部に不具合が判明したことから、急遽入札参加を見送った結果、1者応札となった。落札率が低廉となった要因としては、借上場所の近傍に借上予定の器材を保有していたことから、その輸送コストが抑制されたためと思われる。また、会社側において同時期に参加予定の入札案件がなかったことも一因であると考えられる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・単品で借りるよりもまとめて借りたほうが輸送費は安く抑えられるということか。 ・借上器材の個々の価格はあるのか。 ・借上器材については、同等品があるものという理解でよろしいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴見のとおり。 ・都度、会社から参考見積を取得し、その内容について精査している。 ・競争性確保の観点からも、同等品があるものを選定のうえ仕様書を作成し、一般競争入札に付している。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見なし	
2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合情報件数	0件	(審議概要) ・該当案件なし
○委員からの意見・質問	意見・質問	回答
○それに対する回答等	なし	なし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
3. 再苦情処理（再説明請求回答）		
・該当事案無し		